

こどもの発達からみる 子育てのヒント

子育ての基本姿勢は温かいまなざし

中部大学現代教育学部

教授 大河内修

なんの仕事でしょう？

面接官が仕事内容を応募してきた人に説明しています。

募集しているポストは、どうやら運営部長のようです。

このポストは非常に重要で責任のある役職だ。様々な場面に融通の利く人材を求めている。ずっと立ちっぱなしで、常に動き続けなくてはいけない業務の為にスタミナも求められる。勤務時間は週に約135時間。ちなみに、勤務中に休憩はない。

「それは本当に合法的な職務なの？」と面接を受けている人は質問します。

答は「Yes」ランチを取る時間すらままならない労働環境に、皆が「ありえない」とこぼし始めます。

何の仕事でしょう？

さらに面接官は、仕事をする上で重要な能力の説明を始めます。

このポジションには、交渉スキル・対人関係のコミュニケーション能力は不可欠で、薬や財務に関する知識も重要になってくる。これらをこなしながら、常に平常心を保つことが大切だ。ちなみに長期休暇は無い。最後に、給与の話。「完全無給だ」

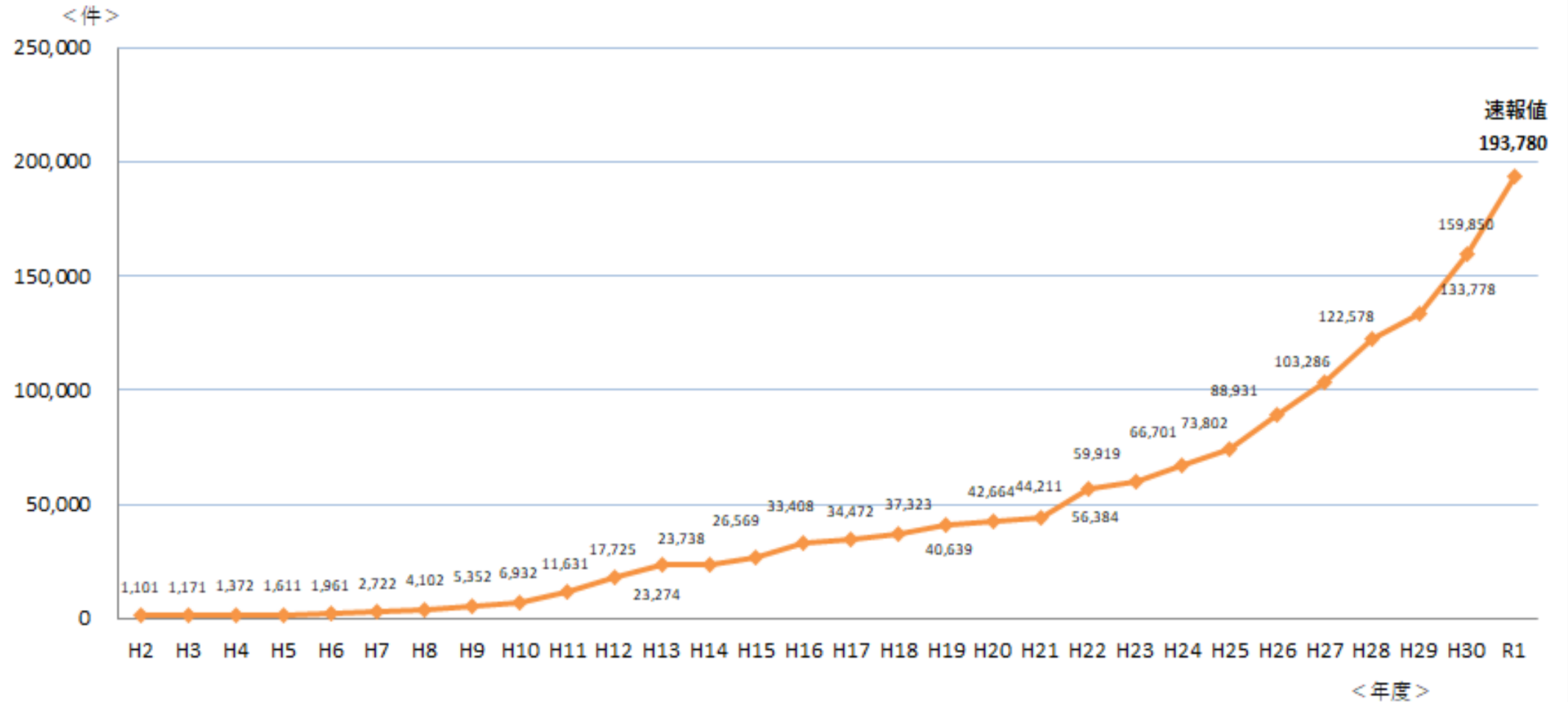
この言葉に、面接を受けていた誰もが疑問符と呆れを見せ、仕事に否定的な言葉を投げ始めます。

「ありえない」「誰がこんな仕事を望むの？」

面接官は答えます。

「世界中に、この仕事を望んでしている人は数えきれないほどいる」

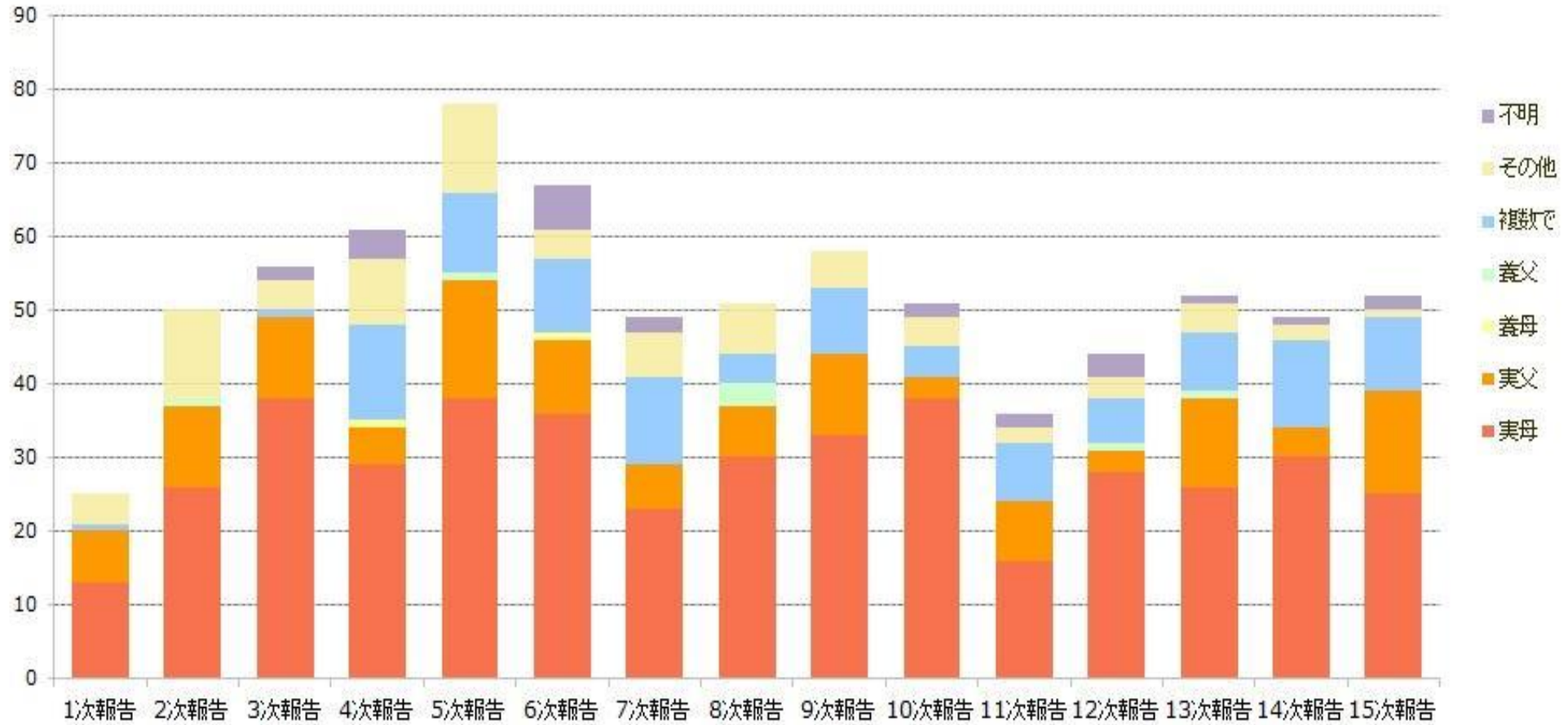
児童相談所における児童虐待相談対応件数



死亡した子どもの主な加害者

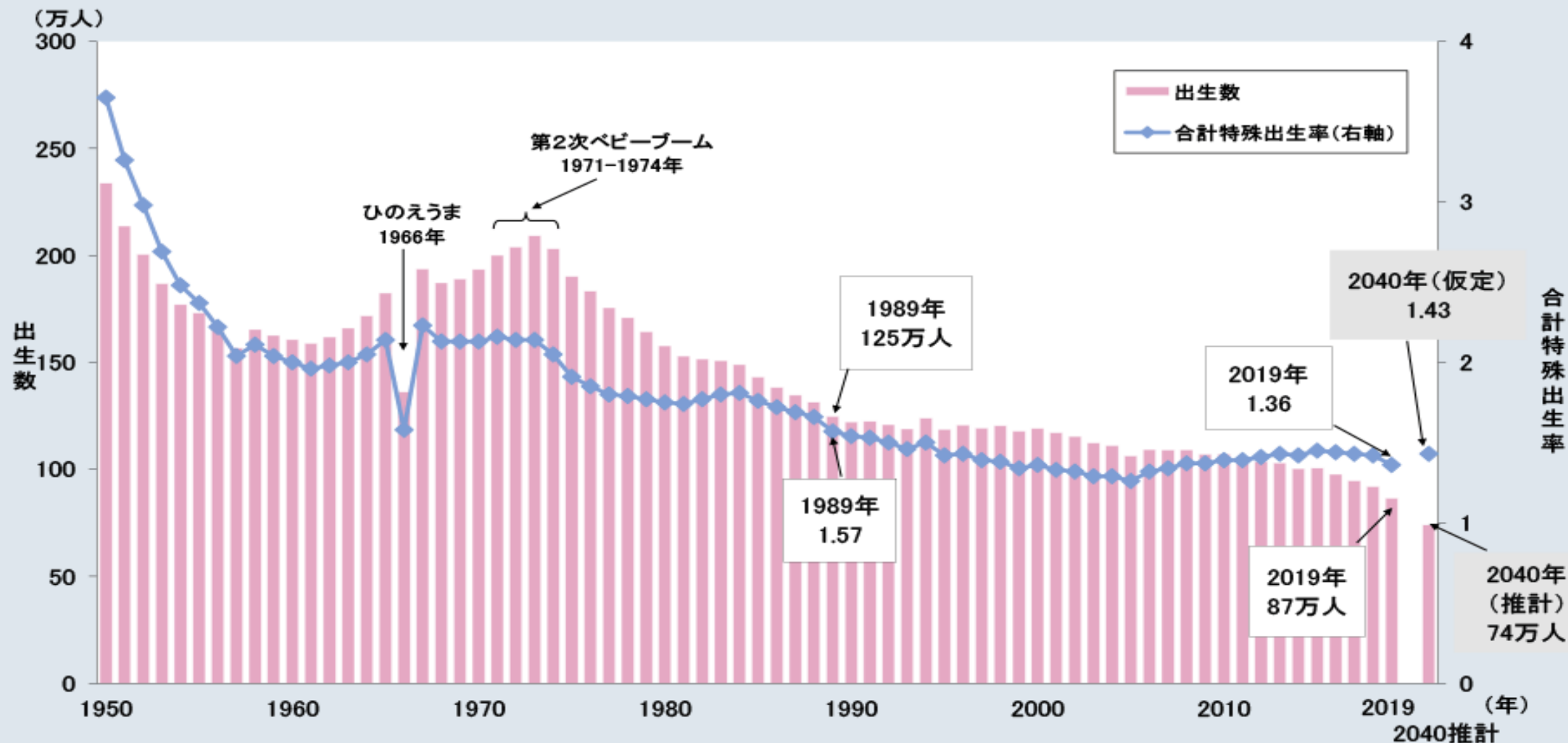
<人>

<心中以外>



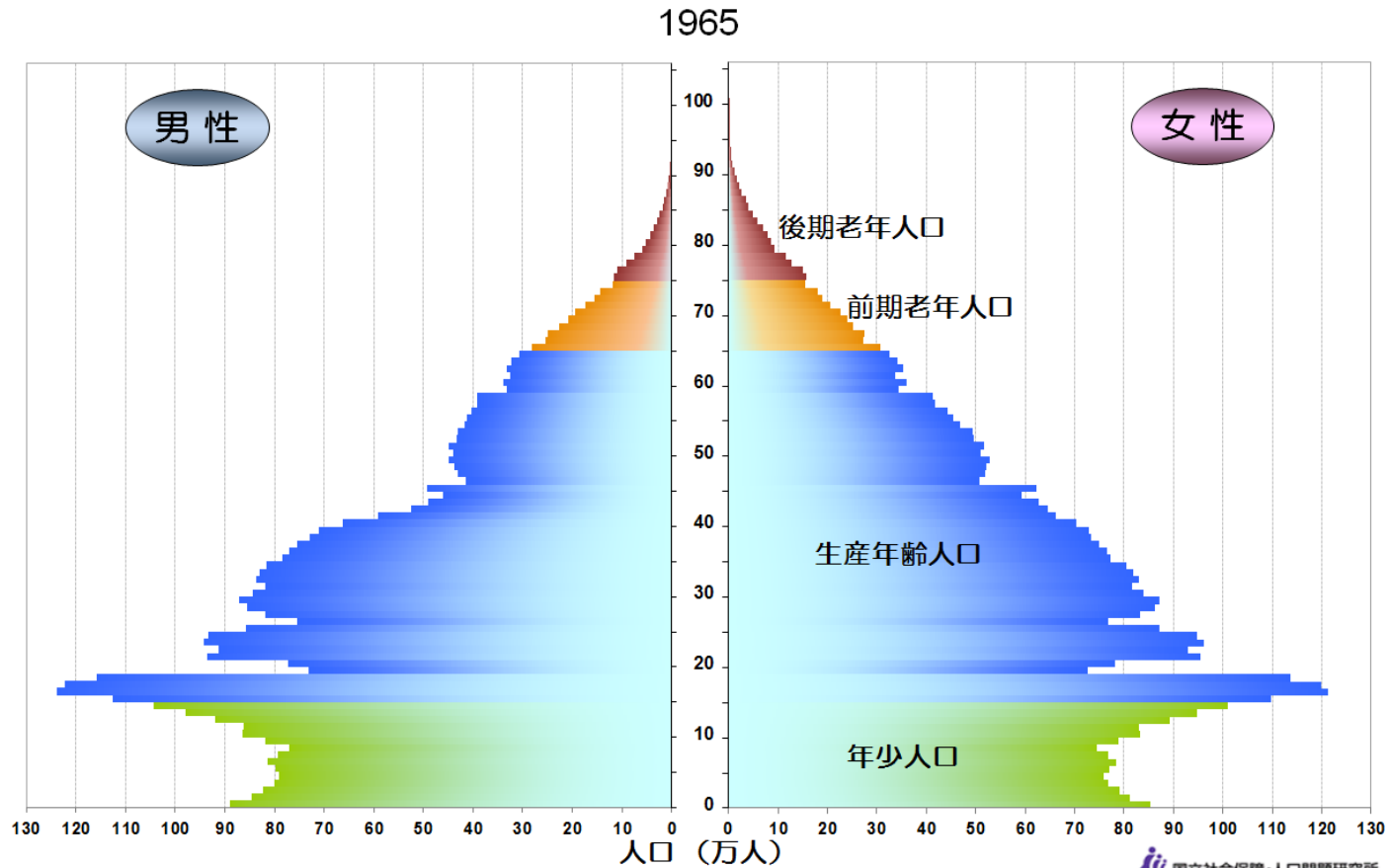
図表 1-1-7

出生数、合計特殊出生率の推移



資料：2019年までは厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」（2019年は概数）、2040年の出生数は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」における出生中位・死亡中位仮定による推計値。

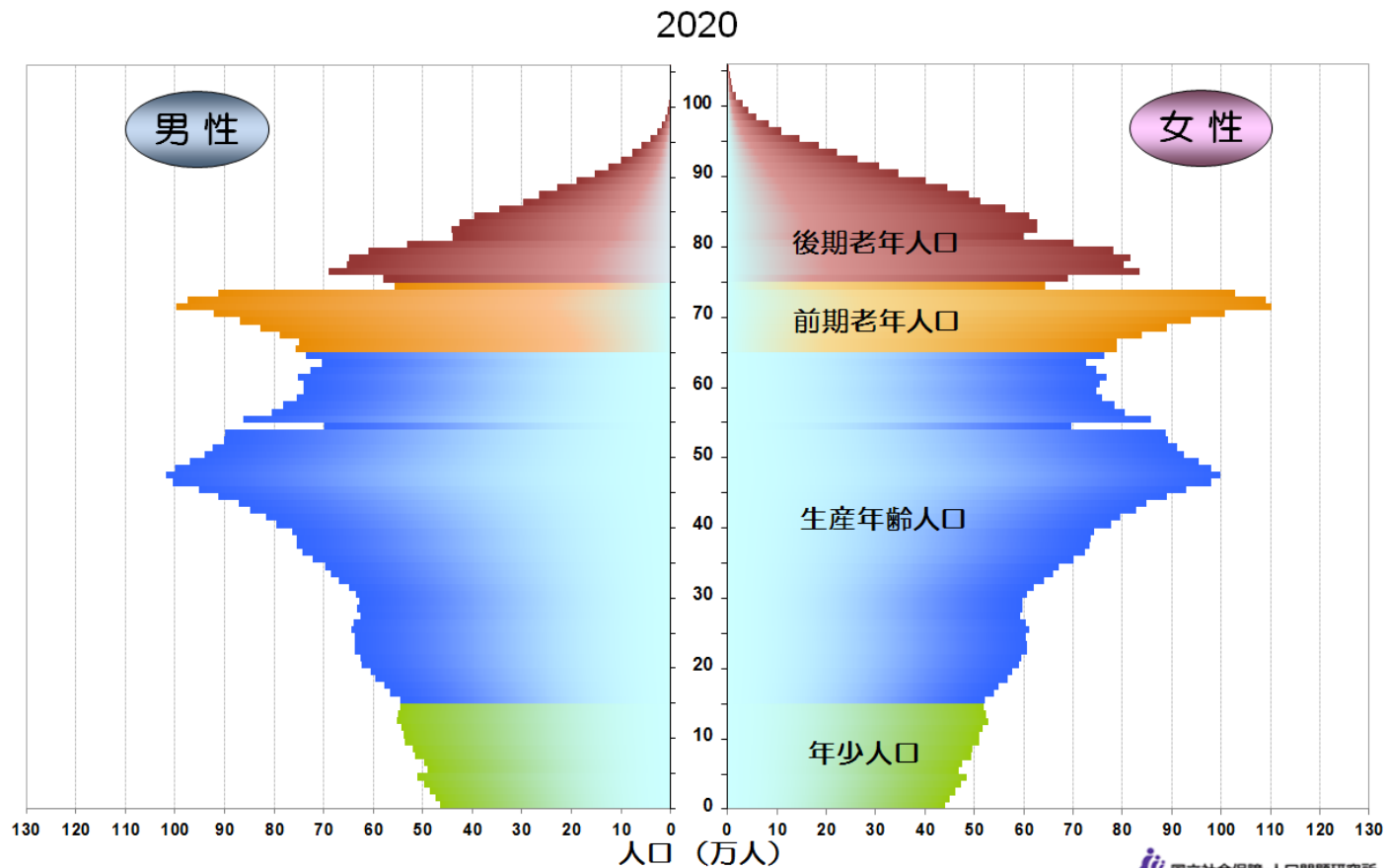
人口ピラミッド 1965



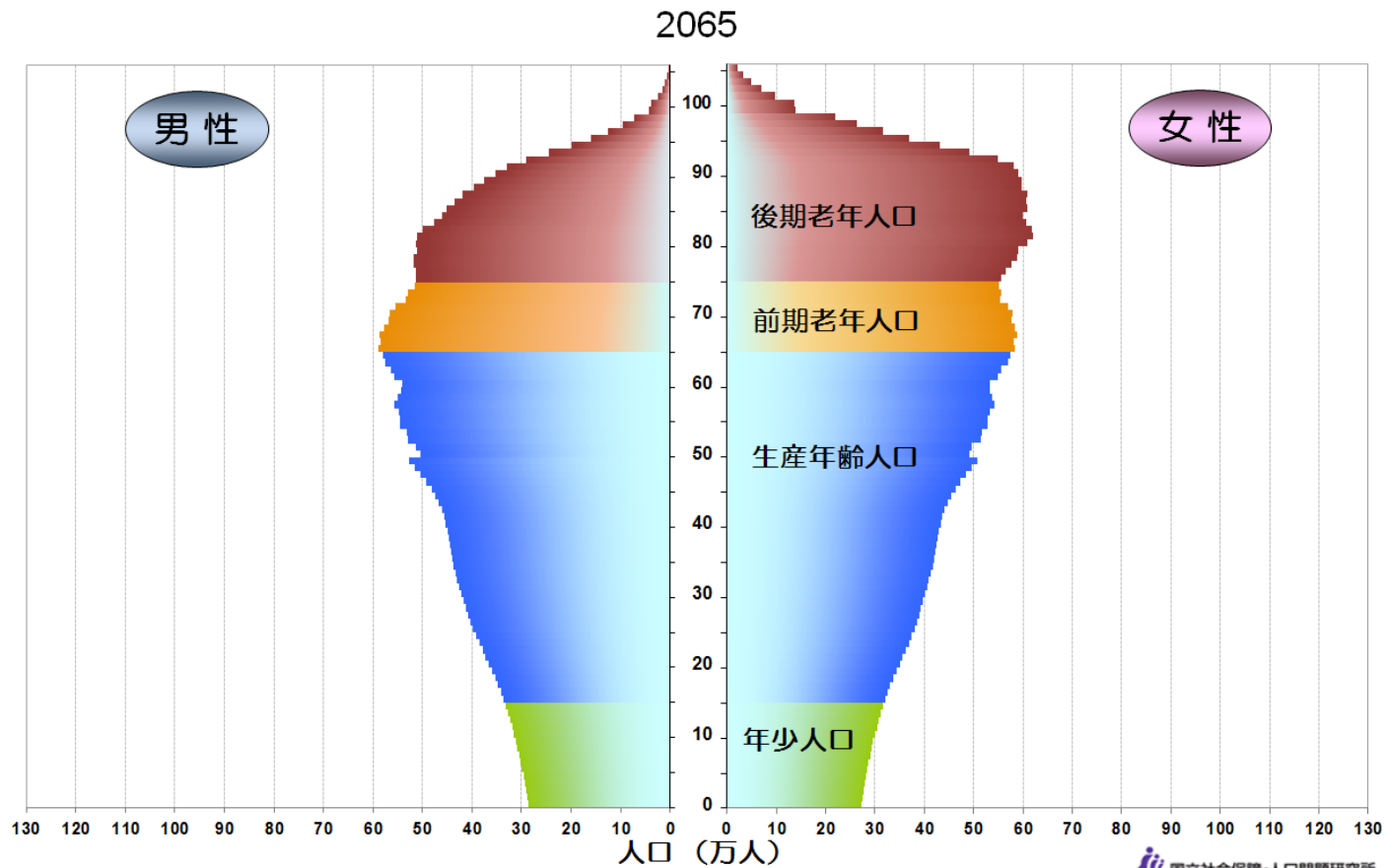
資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」。

国立社会保障・人口問題研究所

人口ピラミッド 2020



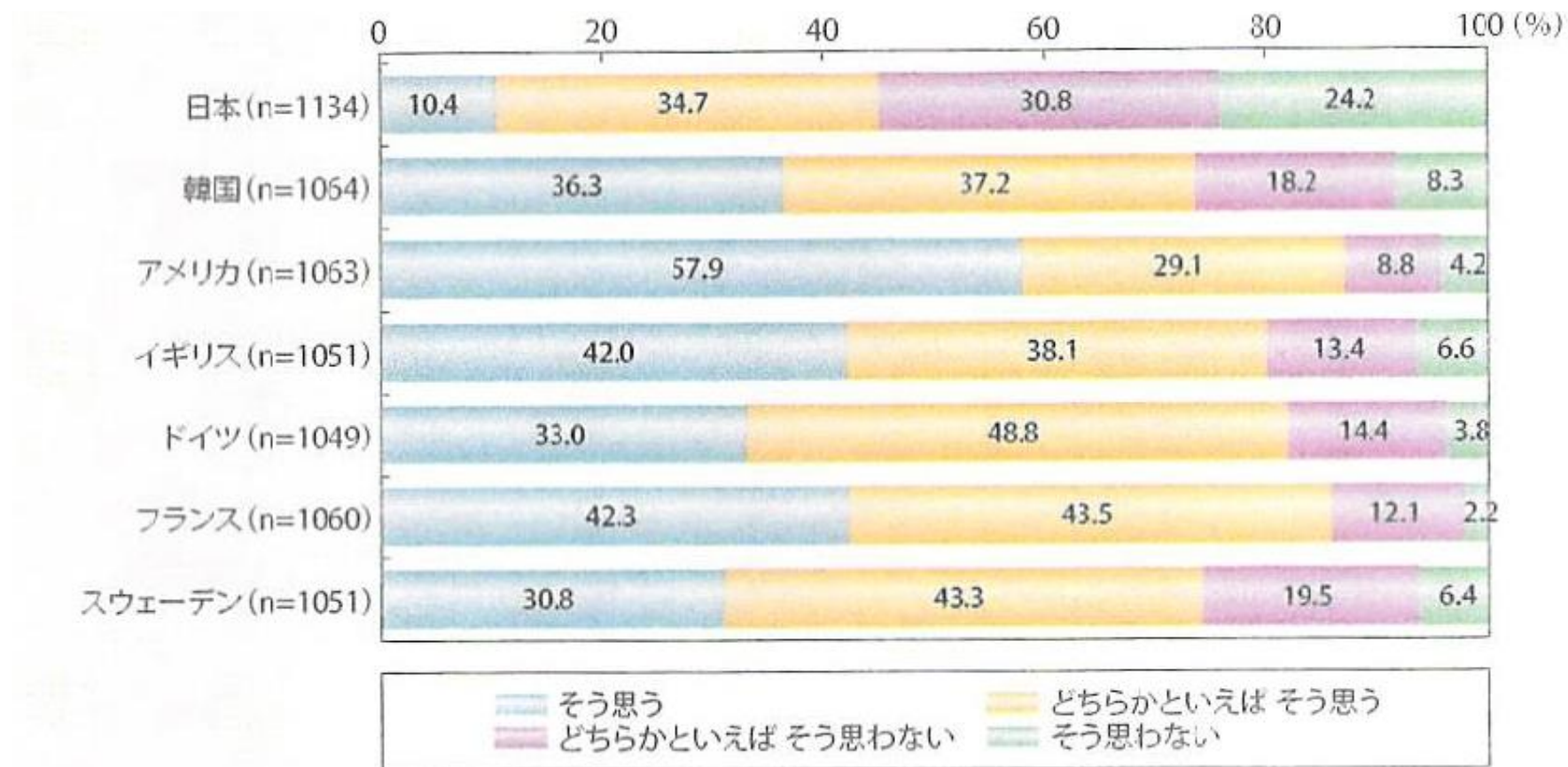
人口ピラミッド 2065



資料：1965～2015年：国勢調査、2020年以降：「日本の将来推計人口（平成29年推計）」（出生中位（死亡中位）推計）。

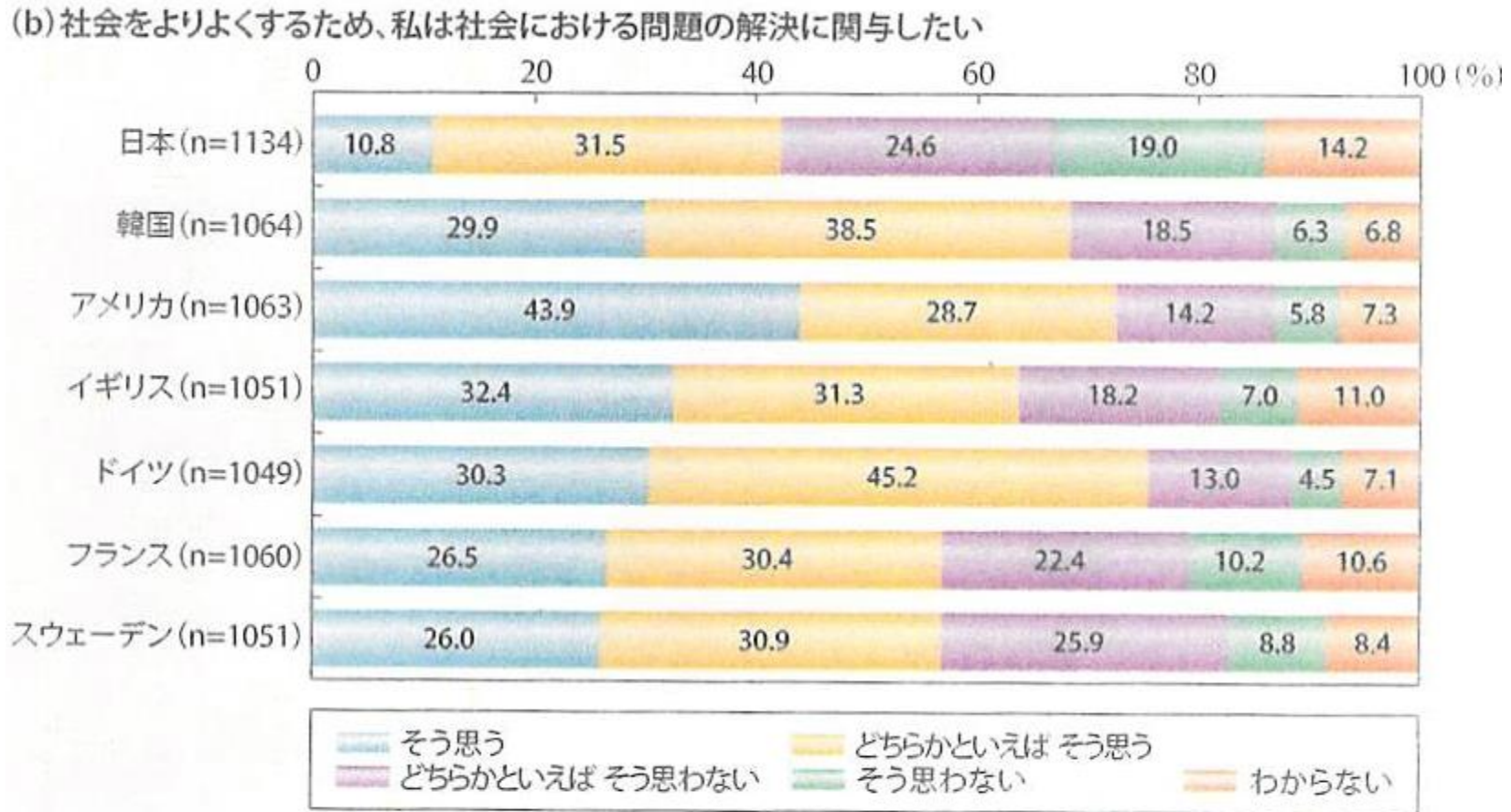
国立社会保障・人口問題研究所

自分に満足している (令和元年版子供・若者白書)

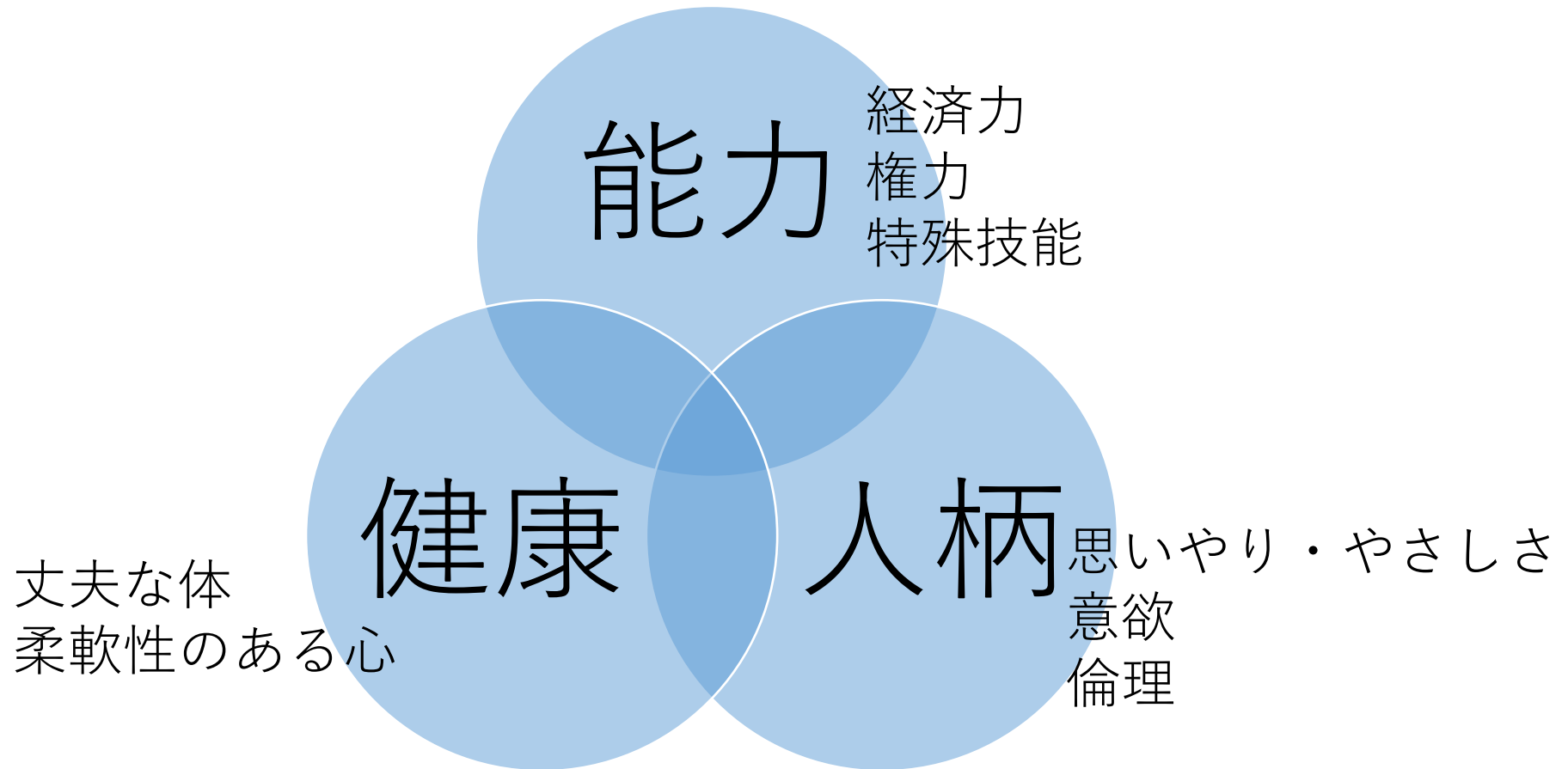


社会をよくするために、問題の解決に関与したい

(令和元年版子供・若者白書)



どのような人に育ってほしいですか



他者の心の痛みに寄り添える思いやりの力

- 相手の気持ちに気づく **共感力**
- 相手と歩調を合わせる **協調性**
- 相手を受け入れる **温かい姿勢**
- 自分自身が混乱しない **情緒の安定性**

自己肯定感 社会への信頼感

色々なことに積極的に挑戦する意欲

- 外発的動機づけと内発的動機づけ
「ほめられるからやる」と「興味があって面白いからやる」の差
- 自己決定感（自分で決められる）
- 有能感（社会の中で自分らしく生きていくことができる）
 - 社会は自分を温かく受け入れてくれる
 - 自分は社会に合わせることができる
 - 自分に合った社会を選択できる
 - 社会を自分に合うように変革できる

失敗しても自分は大丈夫

自己肯定感

社会への信頼感

困難やストレスに負けない柔軟な心

- コーピング（ストレスに対応しようとする力）
こころを癒し、冷静になる。
情報を集めて合理的に対処する。
- 自分や周囲に対する理解の歪みが小さい。
- 自分の気持ちをその場にふさわしい形で表現できる。
- ありのままの自分、ありのままの社会を受け入れる（出発する）。
- 周囲の人と共に生きること喜びを感じている。

自己肯定感 社会への信頼感

三つ子たまたましいい
1000まで

乳児の時期に育てたい「愛着」

「愛着」とは

子ども（乳児）と対象（養育者）との間の絆やつながり
安全・安心・保護への欲求

「愛着行動」とは

脅威に直面した時に愛着対象との近接性を求めること
(怖い時や不安な時に特定の人にくっついて安心する)

「愛着」の発達（ボウルビー）

段階 1：誕生から 8 週前後

「対象の弁別を伴わない定位反応やシグナル反応」

身近な人に「握る」「微笑む」「喃語を発する」「泣く」

段階 2：8 週前後から 6 か月前後

「弁別された 1 人以上の対象に向けられた定位反応やシグナル反応」
知っている人と知らない人を区別 人見知りの始まり

段階 3：6 か月前後から 2 歳～3 歳前後

「弁別された対象との移動を伴う近接性の維持」
特定の人を安全基地として探索行動をとる

段階 4：3 歳前後以降

「目的修正的パートナーシップの形成」

自分とは独立した人格として母親を理解する。

愛着のパターンとその内在化

安定型愛着

分離場面で母を求める。母親に向けて積極的に行動、母親と調和的に交流、母親の求めに喜んで従う。

不安定一回避型愛着

分離に反応を示さない、再会時に母を求めない、母が抱いてもしがみつかない。

不安定一抵抗/両価型愛着

家庭でも新奇場面でもよく泣く。再会時母が抱き上げると、激しく怒ったり、しがみついて泣いたりする。

非体制型・無方向性の不安定型愛着

一貫性のある行動をとらない。

その後の対人対応のパターンに強い関係性を持つ

自分や社会に対する肯定的な姿勢を育てる
温かいまなざし

温かいまなざしとは

子育ての基本姿勢は「温かいまなざし」

プラス
前向き
肯定的
積極的
楽観的
ポジティブ

温かい

マイナス
後ろ向き
否定的
消極的
悲観的
ネガティブ

冷たい

「なら」 と 「しか」

肯定的に意味づける

半分「なら」 と

価値を認める

安心する

満足する

落ち着く

半分「しか」

価値を認めない

心配になる

不満が残る

焦る



後につく「助詞」が感情を示す

困ったことのプラス面を見つける

例1：8か月の乳児 部屋の中をハイハイで歩き回る

- 危険、不潔、散らかる
- + 運動、探索、

例2：車の運転

- 危険、費用、
- + 世界が広がる、便利、自立

例3：子どもの喧嘩

- 危険、社会的に許されない、
- + 他児への興味、社会性のトレーニング

例4：ネグレクト親 菓子パンを置いてパチンコ

- かわいそう、栄養バランス
- + 食べさせる気持ち、子どもの好きなものに注目

苦手の克服より得意を伸ばす

楽しい
成功
上達早い
職業選択有利
周囲の+評価

得意

辛い
失敗
上達遅い
職業選択不利
周囲の-評価

苦手

できない部分を指摘することより
できた部分をほめる

嬉しい
好きになる
ストレス解消
増える
自信を持つ

ほめる

辛い
嫌いになる
ストレス
減らない？
自信を無くす

誤り指摘

現状を受け入れることから出発する

落ち着く
冷静に分析する
できることからやる

受け入れ

慌てる
目を背ける
放棄する

否定

立てば這え、這えば歩めの親心

あれもできるようになってほしい。

これもできるようになってほしい。

どうやって教えればいいのか？

「できるようになってほしいこと」と
「やりたいこと」が一致するところから

子どもが「学びたいこと」は「やりたいこと」
「内発的動機づけ」 学ぶ意欲は高い

⇒ 邪魔をしないこと、適切な環境を用意すること
興味を持って見守ること

「できるようになってほしいこと」と
「やりたいこと」が不一致

◆両方の一致点を探すことから

例 サッカー と 野球
ダンス と ピアノ
ゲーム と 勉強

◆子どもがやりたがらないことをさせる場合

両方の一致点を見出す。
親自身が楽しそうにやる（子どもに興味を持ってもらう）。
外発的動機付け（ご褒美を活用する）
強制的にやらせる。

ほめ方のコツ

大切な人（理解者・援助者）になること

3回ほめること

「やり始めた時」「やっているとき」「終わったとき」
褒められたことが伝わること

品物やスキンシップ⇒ことばやまなざし

気持ちの共感が最も効果的なほめテクニック

具体的にほめる（何がよかったかを伝える）

できないことができるようになる手順

できない



できたりできなかつたり



できる



取り組む課題は出来たりできなかつたりすることから

成功すると 意欲は高まる — 失敗すると 意欲は下がる

努力してできると意欲の高まりは大きい。

簡単にできると意欲は下がる。

できないことに取り組むと失敗が増加し意欲が下がる

できたりできなかつたりすること（手伝えばできること）

発達の最近接領域

「成功」と「失敗」の心理的意味

	成功	失敗
感情	満足	不満
自己意識	自己肯定感	自己否定感
他者意識	信頼感	不信感
世界への関心	積極的	消極的

失敗を極力減らす援助

◆課題のスモールステップ化

全体を分割する

難易度を下げる

◆「自分でできた」感を持てる援助

失敗直前のさりげない援助

「取り組む」 ⇒ 「失敗」 ⇒ 「注意」 ⇒ 「修正」

「繰り返したことが定着し、滑らかにできるようになる」

やって見せ

(手本を示す)

言って聞かせて

(説明をする)

させてみて

(機会を与える)

ほめてやらねば

(外発的動機付け)

人は動かず

(山本五十六)

やってほしくないことをやめさせる

◆普通の方法：注意をする。叱責をする。説得する。

◆高度なテクニック

まなざしを外す。無関心になる。

嫌になるまでやらせる。

やれない状態を作ってしまう。

「猫を追うより皿を引け」

ゆずらない姿勢（強制終了）

◆拙い方法

恐怖心に訴える（脅す 居直ったら終わり）
（体罰 慣れてしまう）

新しいことを覚えていくときの原則

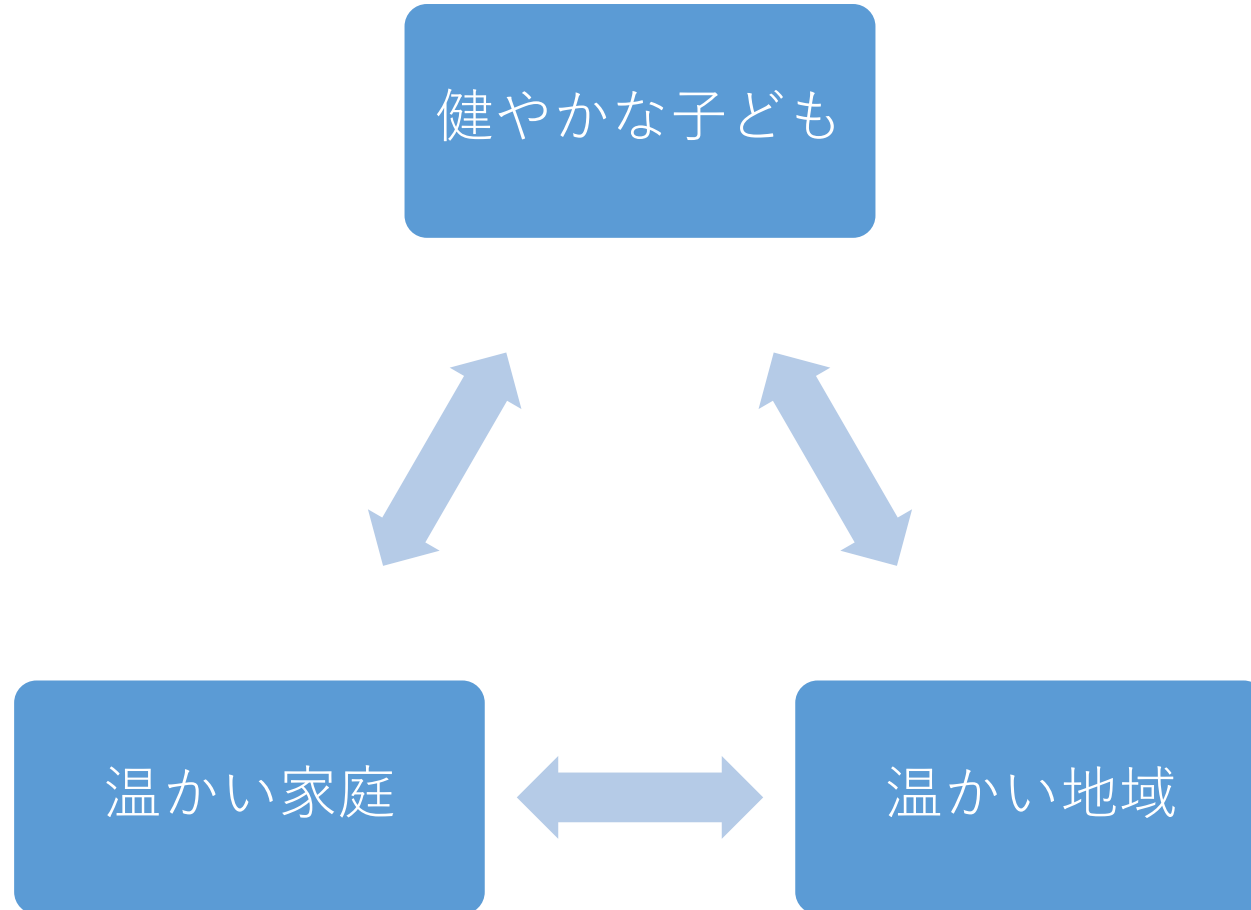
褒められる行動は増加する－叱られる行動は減少するが多い。
注目される行動は増加する－無視される行動は減少する。
成功すると意欲が高まる－失敗すると意欲が減る。
手助けは失敗しない状態で最小限がベスト
覚えてほしいことはスモールステップを組む
出来たりできなかつたりする課題がちょうど適切な課題
思う存分やると満足して卒業する－途中でやめさせられるとまたやりたくなる。
繰り返し練習すると繰り返したことが滑らかになり定着する

おわりに

目指せ 60点の 子育てを

60点の親 と 60点の子ども

家庭と地域で培う子どもの健全な育ち



長時間にわたり、ご清聴を
ありがとうございました。

